

製品名: NTR2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14933**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	NTSR2
別名	NTSR2; Neurotensin receptor type 2; NT-R-2; NTR2; Levocabastine-sensitive neurotensin receptor
遺伝子 ID	23620.0
SwissProt ID	O95665
免疫原	抗血清はヒト NTR2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

背景

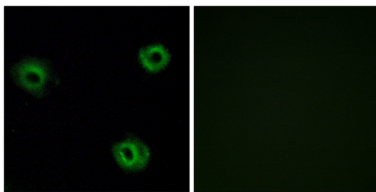
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ホスファチジルイノシトール-カルシウムセカンドメッセンジャーシステムを活性化

する G タンパク質共役受容体ファミリーに属します。結合および薬理学的研究により、この受容体はニューロテンシンに加え、ニューロテンシン NT1 受容体について既に記載されている他のいくつかのリガンドに結合することが示されています。しかし、NT1 受容体とは異なり、この遺伝子は、脳内の低親和性結合部位においてニューロテンシンと競合することが以前に示されたヒスタミン H1 受容体拮抗薬であるレボカバスチンを高親和性で認識します。これらの活性は、この受容体が生理学的に重要である可能性があり、この受容体に対する天然のアゴニストが存在する可能性を示唆しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: トリデカペプチドニューロテンシンの受容体。これは、ホスファチジルイノシトールカルシウムセカンドメッセンジャーシステムを活性化する G タンパク質と関連しています。、オンライン情報:ニューロテンシン受容体エントリ,類似性:G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。、

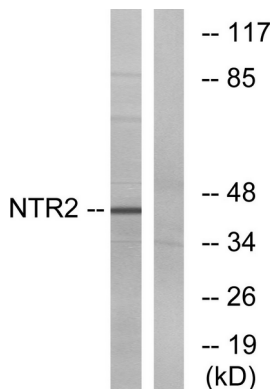
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

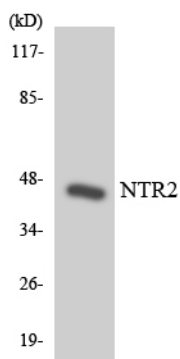
画像データ



NTR2 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



NTR2 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



NTR2 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。